SDG Impact

# より良い世界のために基準をつくる

これはSDGsとすべての人にとってより持続可能で包括的な未来のために、民間資金を活用するための大胆で実行可能な計画です

**ファビエンヌ・ミショー**
SDGインパクトディレクター

UNDP

# ビジョン

サステナビリティとSDGsが民間企業の価値創造の中心に位置し、事業を行う上での単なる「付け足し」ではなく、すべての事業運営指針の核に転換させることです

# 今日の課題

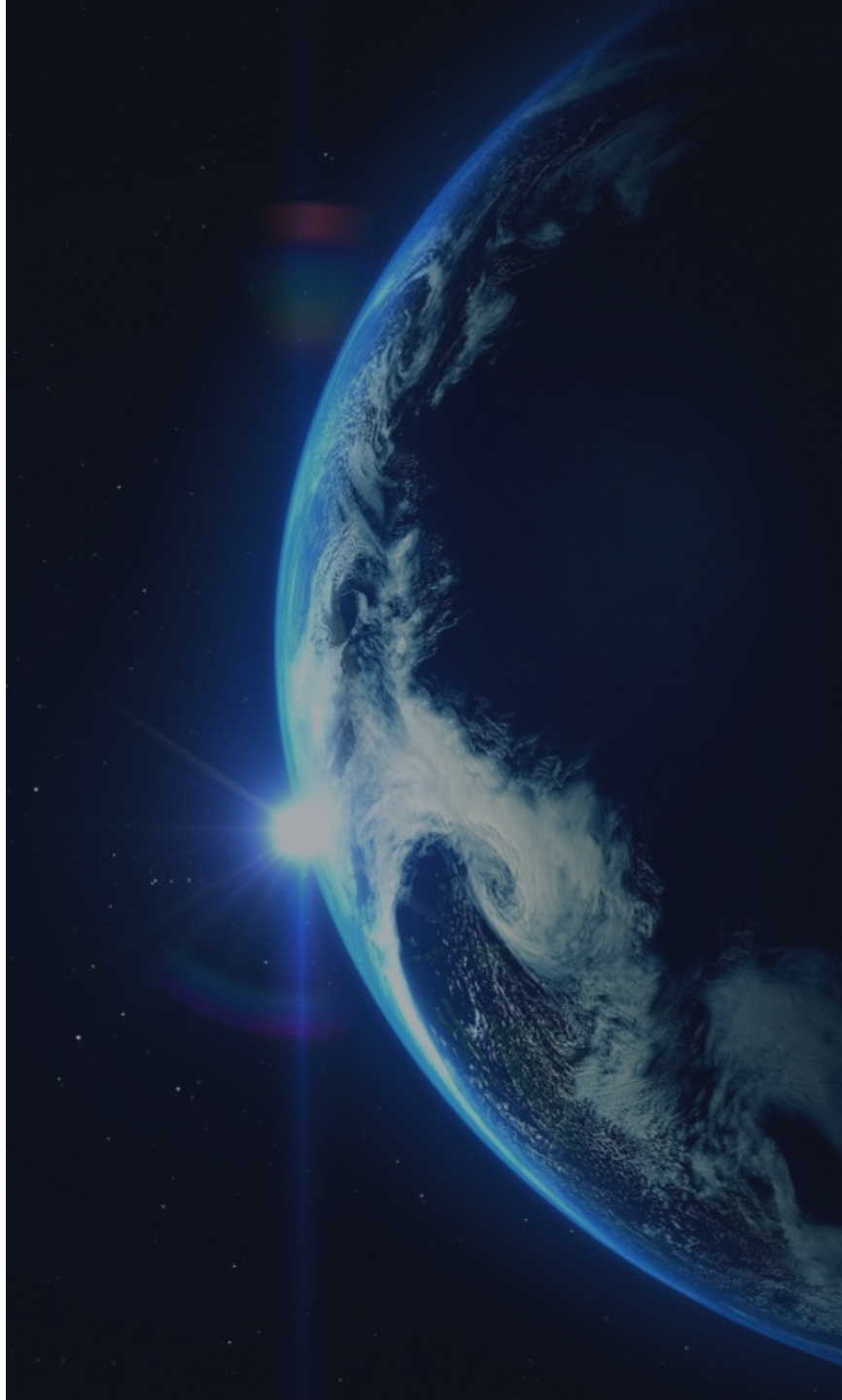
**SDGsの達成は、まだ道半ば**

サステナビリティは**ビジネスの破壊要因**であり、**競争力を生み出す差別化要因**でもあり、**リスクと機会**の両方を生み出します

**民間セクターは極めて重要な役割を担っています**

# 解決策

SDGインパクトは、**この問題の根本的な原因**に取り組み、**システムレベル**での変化を促し、ビジネスや投資のやり方を**変革**していきます



# 私たちのミッション

- **サステナビリティに対するコミットメントと大志を実現すること**
- **SDGsの達成に必要な速度**で貢献すること

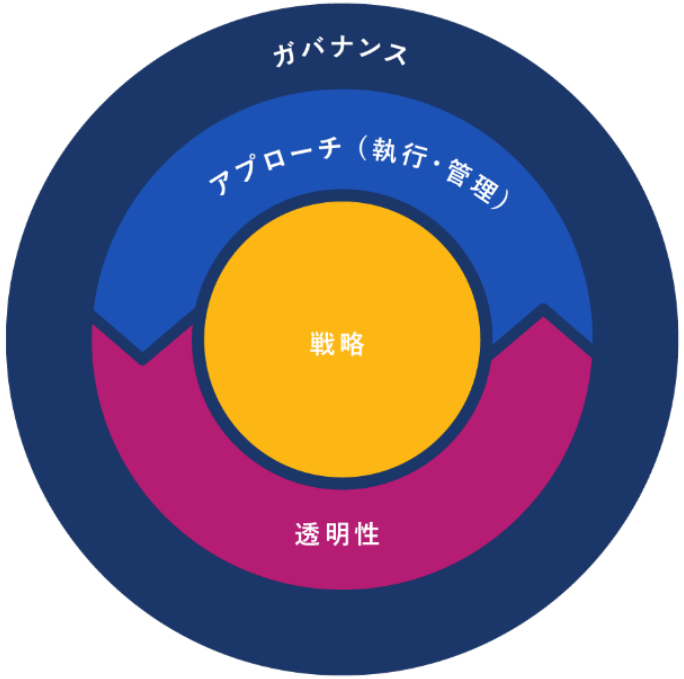
企業や投資家にこれらに必要な情報を提供することで、**企業がインパクトを創出する経営を行い、投資することを支援**します

# 企業・事業体向け SDGインパクト基準

新しい資本主義ー企業の意思決定の大転換

人と地球にいいこと
それはビジネスにとってもいいこと

# SDGインパクト基準の特徴：民間セクターのSDGsへの取り組みを、「報告と紐づけ」から「意思決定と具体的行動」へ移行させるための、組織の意思決定の枠組み




## SDGインパクト基準の根幹…持続可能な事業運営を行い、SDGsに対し積極的に貢献する

- **プラネタリー・バウンダリー（地球の限界）、人権、責任あるビジネス慣行を尊重**する姿勢がなくては達成不可能
- 効果的な**インパクトマネジメントと意思決定**を通じて実現される

## 優れた実践と組織内の意思決定が、より良い報告と情報開示へつながる

- SDGインパクト基準は、インパクトマネジメントとSDGsを組織内の実践と意思決定に統合するための青写真を提供
- 既存および新規の様々な枠組みの下での情報開示・報告要件をより効率的かつ効果的に満たせる

# SDGインパクト基準は他の既存の取り組みを土台とし、全体像の理解を促進するもの

SDG Impact

UNDP

例：
- 国連ビジネスと人権指導原則
- 国連グローバル・コンパクトの10原則
- 国連女性のエンパワーメント原則
- 国連持続可能な開発目標
- インパクト・マネジメント・プロジェクトの共有規範
- 自然資本連合と社会・人的資本プロトコル
- ソーシャル・バリュー・インターナショナルの基準

**ハイレベル原則**

事業や投資活動が、確実に人々と地球に正のインパクトを与えることを担保するためのもの

例：
- インパクト投資の運用原則
- UNEP FIポジティブ・インパクト金融原則および責任銀行原則
- UNGC統合SDG投資・ファイナンスに関するCFO原則
- ソーシャル・バリュー・インターナショナルの社会的価値の7原則
- GIIN インパクト投資の中核的な特徴

**意思決定フレームワーク**

ハイレベル原則に沿うとともに、共通の言語とアプローチを用いて、持続可能な事業運営とSDGsに対する積極的な貢献を意思決定に組み込むためのもの

SDGインパクト基準

| 債券発行体 | 企業・事業体 | プライベートエクイティファンド |
|---|---|---|

OECD-UNDP
持続可能な開発のための資金供給に関するインパクト基準

| 開発金融 |
|---|

| 戦略 | アプローチ | 透明性 | ガバナンス |
|---|---|---|---|

例：
- B Lab SDGアクションマネジャー
- UNEP FI レーダーツール
- OECD多国籍企業行動指針
- 持続可能な活動のためのEUタクソノミー
- UNCTAD
- IRIS+システム
- グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）

**インパクトマネジメントツール**

メトリクス（評価尺度や指標）、タクソノミー、評価モデル、ベンチマーク、その他のツールと枠組み

**外部への情報開示**

持続可能な事業運営とSDGsに対する積極的な貢献を、どのように意思決定に組み込んでいるかを開示し、外部ステークホルダーに対して事業のパフォーマンスを報告するための枠組み

例：

持続可能性報告
- 持続可能な開発目標の開示に関する勧告
- グローバル・レポーティング・イニシアティブ（GRI）

企業価値報告
- サステナビリティ会計基準審議会
- 統合報告（IR）フレームワーク
- 気候関連財務情報開示タスクフォース

Source: UNDP & OECD

# 企業・事業体向けSDGインパクト基準 ―実践のための12の行動

戦略

アプローチ（執行・管理）

透明性

ガバナンス

## 1. コミット
持続可能な形で事業運営し、積極的にSDGsに貢献する

## 2. 把握
SDGsの達成に向けて何が重要か、また現在・未来においてどの領域で価値の高いインパクトを生み出せるかを把握する

## 3. 統合
サステナビリティとSDGsを組織のパーパスと戦略に組み込む

## 4. 目標設定
統合させたパーパスと戦略に沿って、インパクト目標を設定する

## 5. 調整
最善のインパクトを生み出すため、必要に応じて戦略とインパクト目標を調整する

## 6. 整合
組織の文化、構造、能力をパーパスと戦略に整合させる

## 7. 構築
インパクト測定とマネジメントの枠組みを構築する

## 8. 統合
インパクト測定とマネジメントの枠組みに、経営管理システムや意思決定を組み込む

## 9. 定着
継続的な改善を定着させる

## 10. 開示
サステナビリティやSDGsをどのように意思決定とパフォーマンス報告に組み込んでいるかを開示する

## 11. 統合
サステナビリティとインパクト創出に向けたマネジメントの取り組みをガバナンスの枠組みに組み込む

## 12. 徹底
組織のガバナンス機構が責任を持って組織運営の模範を示す

# 企業・事業体向けSDGインパクト基準
# ― 企業等の行動と対応する推奨指標

| 1. コミット<br>持続可能な形で事業運営し、積極的にSDGsに貢献する | 2. 把握<br>SDGsの達成に向けて何が重要か、また現在・未来においてどの領域で価値の高いインパクトを生み出せるかを把握する | 3. 統合<br>サスティナビリティとSDGsを組織のパーパスと戦略に組み込む | 4. 目標設定<br>統合させたパーパスと戦略に沿って、インパクト目標を設定する |
|---|---|---|---|
| 責任ある持続可能な事業運 営、ならびに SDGs への積極 的な貢献が**事業目的の中心で あると定める**（1.1.1） | **グローバル、国、地域における SDGs の重要課題や SDGs 間の ギャップと相互依存性**を含め、持続可能な開発状況に対する理解を深める（1.1.4、1.1.2）<br><br>ステークホルダーと関わること により、**ステークホルダー**にと って何が重要かを把握する（1.1.5）<br><br>**バリューチェーン全体の様々な ステークホルダー**（軽視されが ちなグループを含む）に対する **現在および将来の潜在的インパ クトを**示し、**ステークホルダー にとっての重要項目に基づいて重大なインパクトを特定する**（1.1.6） | **インパクトの意図**を明確化し、**組織のパーパスと戦略**に反映させる（1.1.1）<br><br>人権、プラネタリーバウンダリー、およびその他の責任あるビジネス慣行の尊重を**アプローチに組み込む**（1.1.3）<br><br>**ビジネスモデルとパートナー シップ・ア**プローチを評価す る（1.1.7）<br><br>**インパクトが予想通りに発生し ないリスク**（ステークホルダー に対するものも含む）を**評価す る**（1.1.8、1.1.9） | すべての重大なインパクト（ネガティブなものも含む）や分野 横断的な課題に対し、目標を迅 速に達成するために**求められるベースライン、最低限の基準値、変動率など意欲的で測定可能な目標を設定する**（1.2.1、1.2.2、1.2.3、1.2.5）<br><br>SDGsのアウトカム分野と**ABCインパク ト分類**に応じた目標の設定（1.2.4）<br><br>戦略とインパクト目標を**事業計画**に統合し、十分な**予算**と リソースを配分して、戦略計画およびインパクト目標を達成する（1.1.10） |

# 企業・事業体向けSDGインパクト基準
# ー　企業等の行動と対応する推奨指標

| 5. 調整<br>最善のインパクトを生み出すため、必要に応じて戦略とインパクト　目標を調整する | 6. 整合<br>組織の文化、構造、能力をパーパスと戦略に整合させる | 7. 構築<br>インパクト測定とマネジメントの枠組みを構築する | 8. 統合<br>インパクト測定とマネジメントの枠組みに、経営管理システムや意思決定　を組み込む |
|---|---|---|---|
| 組織内外の状況の変化、実際 のインパクトに関する情報が明らかになるのに伴い、戦略 とインパクト目標の見直しや 調整を行う（1.1.11） | 人権、プラネタリー・バウンダ リー、その他の責任あるビジネ ス慣行を尊重する姿勢を**方針や手順**に組み入れる（2.1.1、2.1.2）<br><br>意思決定への**ステークホルダーの関与**、**政府機関**との連携、**同業他社やパートナー**になりうる 組織との協働を通じた合同解決策の模索などにおいて、アウトサイドインの手法を構築する （2.1.3、2.1.4）<br><br>能力開発を進め、**説明責任を組み入れ、インセンティブ**を目的 と戦略に合致させる（2.1.5） | **意思決定に役立つ測定基準を 特定する**アプローチを構築 し、**インパクトデータを適切 に収集、検証、管理、使用する**（2.1.6、2.3.2）<br><br>**インパクトを評価、モニタリ ング、管理する方法**を策定す る（2.2.1、2.2.2、2.2.3、2.3.1、2.3.3、2.3.4）<br><br>**意思決定に必要な情報量**を決定する（2.2.4）<br><br>インパクトリスクを管理する ために、**第三者によるインパ クト評価**が必要な時期を決定する（2.2.6）<br><br>インパクト情報がビジネスの 意思決定、進行中のインパクトマネジメント業務および継 続的な改善につながるよう に、**結果と学んだ知見**を把握 する(2.1.7, 2.2.7, 2.3.5) | 7 で構築した手法に基づき、**重大なインパクトを評価、比較す る**（2.1.6、2.2.1、2.2.2、 2.2.3、2.2.4、2.2.6）<br><br>インパクトと SDGs への積極的 な貢献を最適化するための**選択肢を選ぶ**（2.2.5）<br><br>予想されるインパクト、**ベース ライン、反事実、最低限の基準値**に対する**実際のインパクト・ パフォーマンスをモニタリング** し、インパクトと SDGs への貢献を最適化するために行動する （2.3.1、2.3.2、2.3.4）<br><br>予想アウトカムからの乖離を**分析**し、対処する（2.3.3） |

# 企業・事業体向けSDGインパクト基準
# ― 企業等の行動と対応する推奨指標

| 9. 定着<br>継続的な改善を定着させる | 10. 開示<br>サステナビリティやSDGsをどのように意思決定とパフォーマンス報告に組み込んでいるかを開示する | 11. 統合<br>サスティナビリティとインパクト創出に向けたマネジメントの取り組みをガバナンスの枠組みに組み込む | 12. 徹底<br>組織のガバナンス機構が責任を持って組織運営の模範を示す |
|---|---|---|---|
| インパクト**結果**、**知見**、持続可能な開発状況の**変化**を念頭に置き、**長期的にイ**ンパクトマネジメントの実践を**精緻化** する（2.1.7、2.3.5） | **SDGs 情報開示勧告**、ステーク ホルダーのニーズ、関連法規に 従って**開示・報告をする**（3.1、 3.3、3.5）<br><br>**インパクト・パフォーマンスを 一貫した方法で状況に応じて発信する（3.2）**<br><br>**人権や、責任あるビジネス慣行 に関するその他の方針を開示す る（3.4）**<br><br>インパクトおよび持続可能性に関する報告書の**保証**を受け、**推奨**項目を実行する（3.6） | 組織のガバナンス機構は**持続可能性とSDGs への積極的な貢献が、企業のパーパス、戦略、リスクマネジメント、意思決定の実践**、責任あるビジネスおよびインパクトマネジメントの**実践やパフォーマンスに組み込まれているかを監督する（4.1）**<br><br>企業の**親会社および持ち株会社**、あるいはそのいずれかは 本基準が示す要件に則り、ガバナンスと責任あるビジネス慣行に関する方針、実践、パ フォーマンスを保持する （4.3） | 組織のガバナンス機構は、持続可能な開発に**ふさわしい能力を有する多様な人材で構成されて おり、透明性のある事業運営を行い**、影響を受けるステークホ ルダーに代わって行動すること の重要性を認識している （4.2）<br><br>組織のガバナンス機構は、**経営陣に対し**、責任あるビジネスと インパクトマネジメントの実践 （企業のバリュー、パーパス、方針に沿う）およびパフォーマンス に関する**責任を負わせる** （4.2） |

# SDGインパクト 自己評価ツール
## ― 進捗の把握 ・ 行動の優先順位付け ―

SDG Impact

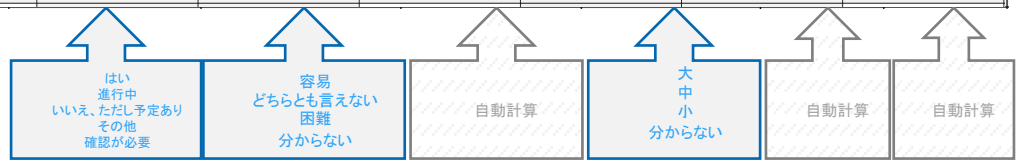
UNDP

***基準1の例: 戦略***

手順3．基準1の自己評価　手順4．基準3の自己評価

| | E | F | G | H | I | J | K |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 基準1. 戦略：持続可能な開発およびSDGsに対する積極的な貢献を組織のパーパスや戦略に組み込み、意欲的なインパクト目標を設定している。 | | | | | | |
| 2 | # 推奨指標 | 質問 | 自己評価<br>回答：<br>E列の質問への回答を選択のこと<br>(以下のドロップダウンメニューを参照) | 容易度<br>回答が「はい」以外の場合（F列）、それを実施するのはどの程度容易か。<br>(以下のドロップダウンメニューを参照) | 容易度スコア<br>1＝容易<br>2＝どちらとも言えない<br>3＝困難<br>0＝分からない | 付加価値<br>これを実施することによって組織が得られる価値やメリットはどの程度か。<br>(以下のドロップダウンメニューを参照) | 付加価値スコア<br>1＝大<br>2＝中<br>3＝小<br>0＝分からない | 優先順位案<br>順位は回答に基づき自動的に計算される。 |
| 3 | 行動1.<br>事業に責任を持ち持続可能な形態で運営する。積極的にSDGsに貢献し、最善のインパクトを出す。(1.1.1) | 事業に責任を持ち、持続可能な形態で運営しているか。積極的にSDGsに貢献し、最善のインパクトを出しているか。(1.1.1) | | | 0 | | 0 | 0 |
| 4 | 1.1.1 組織の長期的なバリュー（価値）創出への取り組みと、持続可能な開発およびSDGsに対する積極的な貢献を連動させている。 | 組織の長期的なバリュー（価値）創出への取り組みと、持続可能な開発およびSDGsに対する積極的な貢献を連動させているか。 | | | 0 | | 0 | 0 |
| 5 | 行動2.<br>ステークホルダーにとって、そしてSDGsの達成に向けて何が重要か、また組織が現在どの領域でインパクトを生み出しているかを把握する。そうすることで将来、価値の高いインパクトをどの領域で発揮できるかを見極める。(1.1.2、1.1.4、1.1.5、1.1.6) | ステークホルダーにとって、そしてSDGsの達成に向けて何が重要か、また組織が現在どの領域でインパクトを生み出しているかを把握しているか。そうすることで将来、価値の高いインパクトをどの領域で発揮できるかを見極めているか。(1.1.2、1.1.4、1.1.5、1.1.6) | | | 0 | | 0 | 0 |
| 6 | 1.1.2 その取り組みにおいて、持続可能な開発の課題とSDGsの相互依存性を分析している。 | その取り組みにおいて、持続可能な開発の課題とSDGsの相互依存性を分析しているか。 | | | 0 | | 0 | 0 |

***使用方法:***
***ドロップダウンメニューの中から最も適したものを選択し、F, G, I列を全て回答する***



# SDGインパクト 自己評価ツール
## ― 認証取得へ向けた準備 ―

SDG Impact

UNDP

***作業ツールや情報集約の場として使用可能（各推奨指標のエビデンスを示し、関連リソースを追加し、今後の課題と提案を記録）***

| | C | D | E | L | M | N | O | P |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 基準1. 戦略：持続可能な開発およびSDGsに対する積極的な貢献を組織のパーパスや戦略に組み込み、意欲的なインパクト目標を設定している。 | | | | | | | |
| 2 | # | 推奨指標 | 質問 | エビデンス<br>自己評価(F列)の回答が「はい」または「進行中」の場合、その裏付け資料やエビデンス(例:書類の名称、ドキュメントやウェブサイトへのリンクなど)を提示のこと。 | コメント<br>説明を記入のこと(任意)。 | リソース<br>組織では、この推奨指標を適用するために何らかのツール、手法、基準その他を用いているか。 | 課題<br>この指標を実施する上で最大の課題(複数でも可)は何か。 | 提案<br>意見があれば記入。 |
| 3 | 行動1.<br>事業に責任を持ち持続可能な形態で運営する。積極的にSDGsに貢献し、最善のインパクトを出す。(1.1.1) | | 事業に責任を持ち、持続可能な形態で運営しているか。積極的にSDGsに貢献し、最善のインパクトを出しているか。(1.1.1) | | | | | |
| 4 | 1.1.1 | 組織の長期的なバリュー(価値)創出への取り組みと、持続可能な開発およびSDGsに対する積極的な貢献を連動させている。 | 組織の長期的なバリュー(価値)創出への取り組みと、持続可能な開発およびSDGsに対する積極的な貢献を連動させているか。 | | | | | |
| 5 | 行動2.<br>ステークホルダーにとって、そしてSDGsの達成に向けて何が重要か、また組織が現在どの領域でインパクトを生み出しているかを把握する。そうすることで将来、価値の高いインパクトをどの領域で発揮できるかを見極める。(1.1.2、1.1.4、1.1.5、1.1.6) | | ステークホルダーにとって、そしてSDGsの達成に向けて何が重要か、また組織が現在どの領域でインパクトを生み出しているかを把握しているか。そうすることで将来、価値の高いインパクトをどの領域で発揮できるかを見極めているか。(1.1.2、1.1.4、1.1.5、1.1.6) | | | | | |
| 6 | 1.1.2 | その取り組みにおいて、持続可能な開発の課題とSDGsの相互依存性を分析している。 | その取り組みにおいて、持続可能な開発の課題とSDGsの相互依存性を分析しているか。 | | | | | |

認証のための最低限の基準値に基づいて記入

# SDGインパクト基準研修

Social Value Internationalとのパートナーシップに基づき、講師向け研修を開発

2022年7月、SIMIとSVJの代表者を対象とした初の講師向け研修が完了

この研修を受講し、審査に合格した講師は、SDGインパクト基準研修を提供するための認定を受けることができます

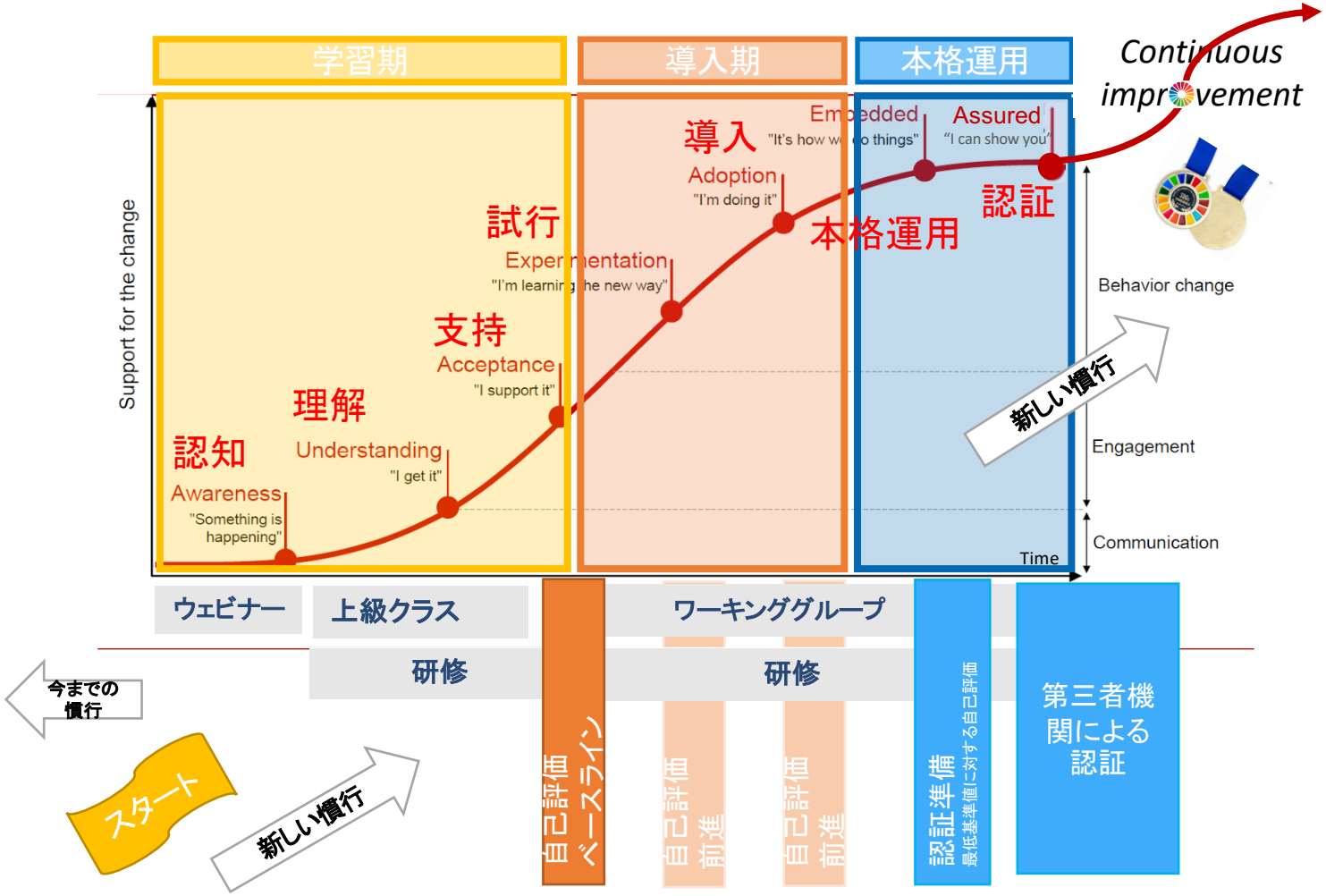
# 研修の概要

| モジュール 1: SDGsがビジネスにもたらすもの | モジュール 2: 基準の組み込み |
| --- | --- |
| 重要なコンセプト<br><br>持続可能な事業運営とSDGsへの積極的貢献がビジネスと投資領域にもたらすもの<br><br>ここまでの道のり<br><br>SDGインパクト基準の概要 | 12の企業の行動を用いたインパクト創出のためのマネジメント<br><br>ギャップ分析のための自己評価ツールを用いた事例研究<br><br>参加者の所属する組織的な文脈での考察<br><br>機会の特定と実装に向けたロードマップの作成<br><br>第三者機関による認証取得への準備 |

# 認証とSDGインパクト認証ラベル

- 認証フレームワークは現在開発中
- 認証取得に最低限必要な基準値・エビデンスを現在作成中
- 第三者認証提供者向け研修は現在開発中
- 2022年に最低限必要な基準値・エビデンスをテストするための認証の試験運用を実施予定

# SDGインパクト認証ラベル取得への道のり






**対象者**

企業・事業体
PE/VC ファンド
債券発行体
アセットオーナー

Source: Adapted from Bain & Company; "Six Key Change Communications Takeaways from Jessica Snow-Wasserman"

# SDGインパクト認証ラベル取得の必要条件

✓「民間セクターのデューデリジェンスとパートナーシップに関するUNDPの規定」の要件を満たしていること

✓最低限必要なエビデンスを満たすこと

✓継続的な改善へコミットし、実証すること

# ありがとうございました!

Contacts:

fabienne.michaux@undp.org

ayaka.naito@undp.org